

春暖の候、皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策等で、気の休まることのない日々を過ごしておられる方も多いと思います。

さて、昨年末には教育活動アンケートにご回答をいただきありがとうございました。子どもへの生活調査と職員のふり返り等を合わせて分析をした評価結果と、学校評議員の方々によります学校関係者評価の結果を報告させていただきます。来年度の取組にしっかりと生かしていきたいと思っております。

A…そう思う B…どちらかと言えばそう思う C…どちらかと言えばそう思わない D…そう思わない E…わからない

項目	質問番号	質問内容	A	B	C	D	E	関連する主な事柄
開かれた学校づくり	①	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	39%	55%	3%	1%	1%	学校だより・学年通信、ホームページ、新聞記事掲載、よくわかる誉田小
	②	学校は、保護者や地域の方が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	52%	44%	2%	1%	1%	授業参観、運動会(地域参加プログラムの導入)、音楽会、オープンスクール
信頼される学校づくり	③	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、ていねいに対応している。	47%	42%	4%	1%	5%	職員の電話対応や接遇
	④	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	40%	47%	7%	1%	5%	P T A委員会、教育活動アンケート、学校評議員会
学習環境づくり	⑤	学校は、校舎内外をきれいし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	44%	52%	2%	1%	1%	校内の掲示、校舎内外の様子、清掃活動、奉仕作業
学力の向上	⑥	学校は、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	41%	54%	2%	1%	1%	朝の学習タイム、複数の教師によるきめ細かな授業の推進、「勉強の仕方7つの約束」の指導、家庭学習の手引き、わくわく学級、英語教育支援事業
	⑦	学校は、子どもたちに学習の習慣を身につけさせるとともに、学習意欲を高めようとしている。	36%	55%	5%	1%	1%	
道徳教育や人権教育の充実	⑧	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。	46%	47%	1%	3%	2%	道徳・人権学習、広島平和学習、福祉教育(手話・アイマスク・リハビリテーションセンターとの交流)、ふれあい学級、アンケート等によるいじめの早期発見・対応
	⑨	学校は、子ども一人一人を大切に、いじめのない仲間づくりに努めている。	36%	50%	5%	2%	6%	
生活指導	⑩	子どもは、家族や友だち、地域の人々に進んであいさつをしている。	39%	50%	8%	1%	1%	「ほんだっ子10の約束」の指導、あいさつ運動、連絡メールシステムの活用、連絡帳の活用、教育相談、サポートルーム、家庭訪問、生活アンケート
	⑪	子どもは、楽しく登校している。	58%	36%	3%	0%	2%	
	⑫	学校は、子どもや保護者との連絡や相談に適切に対応している。	48%	43%	4%	1%	3%	
健康教育安全指導	⑬	学校は、子どもが安全で健やかな生活を送れるよう努めている。	45%	50%	2%	0%	2%	避難・防災訓練、見守りボランティア事業、保健室だより、歯磨き指導、スポーツ活動(陸上、スポーツ少年団)
郷土愛・地域との連携	⑭	学校は、地域に対する誇りや愛着を育てるよう努めている。	46%	46%	3%	0%	4%	ふるさと大好き事業(ウォークラリー、太鼓づくり、校区探検等)、スポーツクラブ21誉田、誉田公民館、誉隣保館等との連携
	⑮	学校は、地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めている。	45%	47%	3%	0%	3%	

【結果と考察】

質問番号	分析結果と改善方策
①	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間96%、93%、94%と高く評価されています。年13回発行予定の「誉田小だより」や随時出される学級通信、保健だより、ホームページ等で、日々の児童の学習や生活の様子をお知らせすることで、教育方針や教育活動を地域や保護者の方に知っていただくことができました。また本年度も「よくわかる誉田小学校」を各家庭に配布し、好評をいただいています。来年度も、引き続き、教育活動をより分かりやすく伝えていきます。
②	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間97%、99%、96%と高く評価されています。運動会、音楽会をはじめ、年4回の授業参観、オープンスクール、ウォークラリーや誉隣保館まつりの学習発表などを通して、保護者や地域の方に児童の様子を見ていただきました。各行事について改善内容を含め、たくさんの感想をいただいております。来年度も、内容に検討を加えながら、児童の様子を知っていただく機会を大切にしていきます。
③	A・Bと回答された方を合わせると、昨年度より2%減って89%。C・Dと回答された方を合わせると5%ですが、そのうち、Dは4%から1%に減っています。これらの結果をしっかりと受け止め、電話での問い合わせや学校への訪問に対して、ていねいに、素早く、適切な対応を行えるよう、また学校からの連絡不足により、ご心配をおかけするような事態もさけられるよう、職員の共通理解の徹底を図っていきます。今後も、保護者や地域の人々の意見・要望等に対しては、全ての教職員がていねいな対応に努め、開かれた学校、信頼される学校づくりに努めていきます。
④	A・Bと回答された方を合わせると、昨年度より3%減って87%。C・Dと回答された方を合わせると、昨年と同じく8%でした。アンケートの記述欄には、教職員や教育活動に対する要望はもちろんのこと、P T A会員数の減少や、時代の流れに即するよう、P T A活動の見直しを進めるべきだとの意見も少なからず寄せられており、P T Aとも連携して改善を模索していく所存です。今後とも皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、各関連団体と連携を図りながら、家庭や地域の声を生かすことができるよう取り組んでいきます。

⑤	A・Bと回答された方を合わせると、96%と本年度も高い評価を得ています。本校では、季節に合った花を育てたり飾ったりしています。そしてほぼ毎日清掃を行い、学習活動の基盤となる教室環境においても、掲示物の貼り方や持ち物の整理整頓などにも気をつけています。また、夏休みにはPTAの方々による奉仕作業で、校舎内外の環境も整えていただきました。そのうえ、本年度は地域の有志の方々が、菅田の森の木々の剪定を進んで引き受けてくださいました。本校は、校地や施設の広さに対して、以前に比べ児童数や職員数が減少し、環境整備に利用できる予算も限られた中ではありますが、これからも日々の清掃活動や環境美化に力を入れるとともに、教育環境の維持管理に努めていきます。
⑥	A・Bと回答された方々を合わせると、95%となっています。本校は、「確かな学力の確立のため、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成」に重点をおき、取組をすすめてきました。また、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」ということについても考え、学びの質の向上に向けた授業研究も推進しています。今後も、児童の「主体的・対話的で深い学び」をさらに実現するため授業研究を深め、一人一人の確かな学力の確立をめざして取り組んでいきます。
⑦	A・Bと回答された方々を合わせると、91%となっています。今年度も、基本的学習習慣の確立のため「朝の学習タイム」の充実や「勉強の仕方7つの約束」の指導の徹底に努めたり、「家庭学習の手引き」を家庭で有効活用したりできるよう取り組んできました。それらに加え、児童が学習活動に意欲的に取り組めるよう、授業改善や教材研究に努めるとともに教育機器の効果的な活用も進めていきます。
⑧	A・Bと回答された方々を合わせると、昨年度と同じく93%でした。学校では、道徳教育や人権教育を中心に、しっかりと規範意識を培い、人を思いやる心を育てたいと考えています。今年度も、子どもたちから募集した人権標語を廊下に掲示し、日常生活のなかでも人権を意識するよう取り組んでいます。しかし、人を傷つける言葉を言ったり、相手の気持ちを考えずに行動したりすることでトラブルになることもあります。命は何より尊いものであることを意識させ、家庭と連携し、自他を認め合える心を育てていきたいと考えています。今後も、地域教材を引き継ぎながら、見通しをもって系統的に人権学習に取り組むとともに、道徳教育の充実に向けて更に研修を深めていきます。
⑨	A・Bと回答された方々を合わせると、本年度は1%減の86%でした。本校では、道徳・人権学習をはじめとして、「縦割り班」を通じた遊びや交流給食など仲間づくり活動等も行い、すべての児童が楽しく安心して学校生活を送れるよう取り組んでいます。また、子どもたちが気軽に相談や学習にきて、心休まる場所となるように設置しているサポートルームで、スクールカウンセラーによる相談も定期的に行っています。また、月に1回「心の健康カード」を書く機会を設け、日頃の悩みが書けるように配慮しながら、気になる内容の児童に声に耳を傾け、一斉指導や個別指導を行ったり、家庭と連絡を取り合ったりしています。今後も家庭と連携を図りながら「いじめは許さない」姿勢で指導を行います。
⑩	A・Bと回答された方々を合わせると、昨年81%から89%と増えています。本校では、一斉下校や児童朝会などで機会を捉えて、あいさつについて指導を行っています。今後も「特別の教科 道徳」や、学級活動の時間などで折にふれ、あいさつの大切さについて取り上げていくとともに、地域の方からいただくお褒めの言葉やご意見を子どもたちに適宜紹介し、あいさつをして気持ちよかったという実感が得られるようにしていきます。また、あいさつはコミュニケーションツールとしてとても大切なものであることを指導しながら、子どもたちのコミュニケーション能力（相手の目を見る、伝わりやすいように話す）の向上に取り組んでいきます。
⑪	A・Bと回答された方々を合わせると、94%でした。多くの児童は、毎日楽しく登校しています。一方で、C・Dと回答された方もおられるため、今後も継続して児童が楽しく登校できる環境づくりに取り組みます。具体的には、仲間づくりやわかる授業づくりを基本とし、全教職員で児童への声かけ（頑張りを認めたり褒めたりする）や友だち関係の観察、児童理解研修の充実を図るなどして、児童の内面的な理解や課題の解決に努めていきます。
⑫	A・Bと回答された方々を合わせると、昨年87%から91%と増えています。相談を受けた場合は、担当及び関係の職員で共有し、必要に応じて全教職員で問題点を共通理解し、早期解決できるよう努力しました。個別懇談は、1学期末に全保護者と、2学期末に希望者を対象として行い、普段の悩みなどを話せる場となるよう努めました。また児童の様子で気になることがあった場合は、その日のうちに連絡帳や電話、家庭訪問等で連絡を行っています。しかし、保護者からはそれ以上の期待を寄せられているということも認識する必要があります。今後も、子どもたちの何気ないことでも気軽に話ができるような関係を築き、家庭との連携方法を工夫するなどのきめ細やかな対応に努めます。また、スクールカウンセラーによる教育相談や関係機関の紹介などを行っていることを周知し、相談体制の充実を図っていきます。
⑬	A・Bと回答された方々を合わせると、95%と高い評価を得ています。火災・地震を想定した避難訓練では、想定を段階的に変化させるなかで、児童自身が自分で考え判断し行動できることをねらいとして取り組みました。引き渡し訓練も今年度は地震時を想定し、例年とは少し違う形式で行いました。見守りボランティア活動では、PTAや地域の方々のご協力により、登下校を中心に児童の安全を見守っていただいています。保健指導では、歯科衛生士によるブラッシング指導を全学年で行っています。その指導を生かして、給食後の歯みがきを呼びかけ、児童の健康面に関する取組にも力を入れています。休み時間の外遊びの奨励、手洗い、うがいの習慣づけなど、健康委員会でも呼びかけています。また、陸上やスポーツ少年団活動の指導にも積極的に取り組んでいます。
⑭	A・Bと回答された方々を合わせると、92%でした。地域の方々の協力を得て実施している校区探検、皮革工場見学、革細工、豆腐づくりなどの体験活動では、地域の様子や産業のことをさらに知るとともに、地域の方々が素晴らしい技術をもち、熱い思いで仕事をされていることを感じることができました。菅隣保館まつりでは人権学習の発表を各学年ごとに行っています。また、自治会やPTAの全面的なご支援のもと毎年実施している広島平和学習は、戦争の悲惨さや平和の大切さを肌で感じることもできる菅田ならではの活動です。そして、スポーツクラブ21にお世話になり本年度20回目を迎えたウォークラリーは、「地域ぐるみで町のことを知り、楽しく活動できている」など保護者からの評価も高いです。菅田町のことを誇りに思う児童を育てるために、今後も地域と連携しながら教育活動を進めていきます。
⑮	A・Bと回答された方々を合わせると、92%でした。菅田こども園とはスムーズな接続に向け日頃より交流を行っています。子ども会や青少協、民推協とは連携を密に図りながら各種事業に取り組んでいます。そして婦人会の方にはPTA参観日等にあずかり保育を実施していただき、老人クラブの方には、ふれあい学級でペタンク教室を開いていただいています。また民生児童委員さんとは情報交換会を年3回定期的に行い、情報を共有しながら子育て支援に努めています。菅田公民館や菅隣保館は「菅田チャレンジ隊」や「ふれあい学級」の実施を通して子どもたちの体験活動、地域の方とのふれあいをより豊かなものにしていただいています。これからも地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めながら、子どもたちの体験活動や学びの充実、健全育成に努めていきます。

【学校関係者評価】（自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、民生委員 各代表からのご意見 主なもの）

○毎月、学校だよりには児童の頑張りや学校の方針などが書かれていて、学校の様子が地域にもよくわかる。 ○保護者アンケートのマイナス意見も公表してもらっているので、学校が信頼できる。 ○進むべき方向がよく分かっておられる。 ○学校を訪問した時に見る児童は、一生懸命掃除をしているように感じる。 ○児童がスポーツやいろいろな場面で生き生き活躍している。活躍の場がたくさんあるのはとてもいいことだ。 ○本年度は、警報・天皇即位の礼などが有り、授業時数が気になっている。柔軟に対応することが大切。 ○教育講演会の日がたつの市の芸術鑑賞会と重なって、6年生の授業が見られずさみしい思いがした。 ○広島平和学習やウォークラリー、スキー教室など、菅田ならではの行事がありがたい。 ○隣保館まつりは自己実現の場でもあり、学習発表会で大きな声で発表していた。その声を、普段の授業の中でも出せるようにしてほしい。 ○地域の者が一番力を入れているのが地域行事で、児童がたくさん地域行事に参加してくれているのが嬉しい。 ○自分の地域を愛してほしいので、いろいろ企画している。そのお礼を、隣保館まつりなどの生き生きとした姿でいただいている。これからも頑張してほしい。 ○こういう時代だからこそ伝統の食文化（お袋の味）を大切にしてほしい。○こども園・中学校との連携をこれからも積極的に。